

# 会議結果報告書

令和2年7月16日

会議の名称	志木市文化財保護審議会
開催日時	令和2年6月26日(金)午後3時30分～5時
開催場所	いろは遊学館第2研修室
出席委員	井上國夫委員、深瀬克委員、上野守嘉委員、新田泰男委員 金子博一委員(計 5人)
欠席委員	なし (計 人)
説明員職氏名	生涯学習課 山本課長、浅見主幹、武井主査 (計 3人)
議 題	(1) 会長の選出について (2) 令和元年年度文化財保護関係事業報告について (3) 令和2年度文化財保護関係事業計画について (4) 志木の田子山富士塚維持管理等補助金について
結 果	(1) について、井上國夫委員を会長に選出した。 (2) について、審議した結果、継続的に保護をすすめることとした。 (3) について審議した結果、承認された。 (4) について審議した結果、承認された。 (傍聴者 0人)
事務局職員	柚木教育長 生涯学習課 山本課長、浅見主幹、武井主査

審議内容の記録（審議経過、結論等）

1 開 会

2 あいさつ

3 議事

(1) 会長の選出について

委員による協議の結果、井上委員が会長に選出された。

(2) 令和元年度文化財保護関係事業報告について

〈説 明 員〉

令和元年度文化財保護関係事業について資料により説明。

〈質疑応答等〉

委員) 歴史まっぷの活用について、配布だけか、学校でどのように活用されているのか。

事務局) それについては、各学校にお任せしている。こちらからは、具体的な活用方法までは確認していない。委員から、実際の活用について教えていただけたらと思うが。

委員) 4年生については、担任から児童へ配布し、授業で使うというよりは、ご家族と一緒にみんなで見に行っておと声かけをしている。3年生は、社会科の学習の中で、1～3月の志木のまちの移り変わりについて学ぶときに、歴史まっぷを見ながら、まちを見るのに活用している。

委員) 寄贈された測量器具はどこに保管しているのか。

事務局) 埋蔵文化財保管センターに保管している。

委員) 文化財保存事業補助金は、田子山富士塚だけでなく、羽根倉富士嶽も出しているのか。

事務局) 以前から2団体に出している。

委員) ハタザクラの保護・保存については、これは市がやっていることか。保存会の活動は。

事務局) 資料の内容は、市で行っていることである。はたざくら保存会は、開花の時期に現地で解説をする活動を行っている。今年は、新型コロナウイルスの関係で活動を縮小し、無理のない形で説明を行った。

委員) 草刈りを業者に委託しているのか。

事務局) はいそうです。

委員) 現存しているのは何本か。

事務局) 手元に数字を持っていないので、今は正確に答えられない。

委員) 苗木は作っていないのか。現在ある木は、みな大きくなってしまい、花が上のほうになってしまい、よく見えない。新しい木ができたならお勧めしたい。

事務局) 花を見るなら、樹形が変わって下のほうの枝が良く伸びているので、原木

が良いと思うが、隣の市民の木も見やすいと思う。また、駅近くの駐車入り口近くのハタザクラは、大きくなりにくい環境なのか、現在小さめなので見やすいと思う。

委員) 板碑の残欠とはどんなものか、どのように見つかったのか。

事務局) 文字は一つあるが、他はない。敷島神社から寄贈された。

委員) 寄贈された文書の保存はどうなっているのか。活用はどうするのか。

事務局) 保管は、埋蔵文化財保管センターである。公開については、詰めておかなければならない点もあるため、検討中である。

委員) 1袋に数百点入ってるものをひとつひとつ見ていかななくては。プラスチックケースをどうするのか。保存箱の予算化など課題はたくさんあると思うが。検討してください。

事務局) 中々詰められていないが、検討してまいります。

委員) 先ほど、防災のところで産財氷川神社の話をしていたが、よくわからないので詳しく説明してほしい。

事務局) 消防署から、首里城の火災を受け、自治体指定の文化財の建造物についても、防火対象物として、消防設備の設置など火災予防のための対策について、指導助言していくということです。市としても連携して進めたいと考えています。

委員) なぜ、産財氷川神社なのか

事務局) 指定文化財の建造物という把握です。快哉堂についてはすでに対策している。

委員) 発掘調査の新型コロナウイルスへの対策はどうなっているのか。

事務局) マスクを着用し、熱中症にも注意しながら進めている。

委員) 事業報告、継続しているものはいいが、新規のものに対して非常に遅れている。郷土資料の整理など、今後どうするか検討してほしい。文書の公開、受け入れ、郷土資料等。5～10年スパンで考えてほしい。

事務局) 検討している。そのままにしているわけではない。予算の関係もあり、取り組んでいる。

委員) どこまでやるか計画的に進めてほしい。

事務局) 令和2年度のことは、次の議題で説明させていただきたい。文書の公開につなげられる話もあるので。

### (3) 令和2年度文化財保護関係事業計画について

〈説明員〉

令和2年度文化財保護関係事業計画について資料により説明。

〈質疑応答等〉

委員) 現在出ている埋蔵文化財の調査報告書はいつ届くのか。

事務局) 本日は、担当者が出席できないため配れないが、近いうちにお渡ししま

す。

委員) 埼玉県地域史料保存活用連絡協議会に入会し、情報収集しながら、古文書の保存を進めていくこととしたということだが、情報収集を進め、活用して、古文書の保存と活用の糸口を見つけてほしい。

事務局) 県内のレベルに近づけたらと考えています。

委員) 10年位前に、郷土資料館が、埼玉県博物館連絡協議会をやめた。県内の博物館の一覧に載らなくなってしまった。文化財関係者からは無くなったのかと聞かれた。これについてはどうか。

事務局) 詳しい経過はわからないが、事務局が持ち回りで、大きな博物館と同様に事務局を担うことはできないという判断があったのではないかと思う。当時のことはわからないので、想像でしかないが。

委員) 埼玉県博物館連絡協議会もぜひ考えてほしい。

事務局) 難しい部分もあるが、ご意見があったことを報告いたします。ありがとうございます。

委員) 大小合併門樋についてはどうなっているのか。

事務局) 県と協議中である。まだ、ご報告できるところまで煮詰まっていない。

委員) 前回、打ち合わせ中ということだったが、その後どうなのか。

事務局) コロナの関係で打ち合わせが遅れており、書面で問合せしている。まわりの工事も進んでおり、しっかりとした調査ができるよう調整をかけている。

委員) すれすれひっかかる感じか。

委員) 排水機能を維持して、上を補強してということとはできないのか。

事務局) 排水機能と文化財の調整をどうとっていくか。打合せ中である。生涯学習課としては、文化財としての重要性を主張している。

委員) 文化財と道路建設のニーズとそれぞれあると思うが、文化財と整備とのバランスを取って進めてほしい。こうなったよと示されるだけでは、文化財保護は何のためか分からなくなる。

事務局) 審議会で見解をいただいていることは、必ず報告を上げています。

委員) 地域史料保存活用連絡協議会の活動はどんなものか。

事務局) 文書の保存についての研修会、資料の取り扱いなどについての資料集の作成、情報交換などです。また、文書の保管箱を安く購入できます。

委員) 年何回かあるのか。

事務局) 年数回の研修だが、今年はコロナの関係で変更があるようです。発掘現場が立て込んでいるが、参加については調整しているところです。

委員) 市指定文化財にすべき一覧について、いつも議題にしていると思うが、今

年は一切指定しないのか。絵馬をどうするかずっと議論しているが進展がない。

事務局) 今回は、議案が多く、時間が限られており、提案していない。常にどの文化財の指定していくかは念頭に置いている。ここに議題として出さないから指定しないというものではない。ご理解いただきたい。昨年度、田子山富士塚関連石造物を指定させていただいた。指定するとなると、調査したりまとめたり、かなりマンパワーがいる。生涯学習課の事情ではあるが、発掘調査が多く大変な状況である。埋蔵文化財の担当職員がいないと現地調査はできない。今現在絵馬調査してまとめられるかという、マンパワーがなく難しい。カルタの増刷などは進められるが。だからといってやらないと言うものではない。状況が許せば進めたいと考えている。指定していくべきものについてご意見いただきながら進めたい。

委員) 田子山富士塚関連石造物について説明してほしい。

事務局) 資料により説明

委員) 台石に銘があるが、台石を含めるということではないのか。

事務局) 文化財の名称としては、そこまで詰めていない。台石を除くものではない。

委員) 下に名前がたくさんある。台石の銘文について、どこにも出していないので、まとめられたら。

委員) 市指定文化財に説明板はつけるのか。

事務局) 説明板の設置は、来年度予算に要求します。

#### (4) 志木の田子山富士塚維持管理等補助金について

<説明員>

資料により説明

<質疑応答等>

委員) 国の補助はでないのか。

事務局) 日常的な管理では出ない。また、小さい金額は出ない。

会長) よろしいですか。

委員) いいのではないか。

## 5 報告事項

## 6 閉会

